



香南市は、県都高知市の東部約20～30キロメートルに位置します。市域の東西は約20キロメートル、南北は約15キロメートルの広さをもち、面積約126.5平方キロメートルのまちです。

市の南部地域は、太平洋に面する自然豊かな景観の海岸部と肥沃な平野部が東西に広がり、中部地域は低山が連なる中に里山環境が広がっています。また、北部地域は標高300～600メートルの四国山地の一部を構成しており、これらの山々を源流とする物部川など、水と緑が豊かな地域です。2006年3月に旧5町村（野市町・吉川村、赤岡町、香我美町、夜須町）が合併し、市制施行。

市章

（公募により決定
平成18年11月10日告示）



香南市の頭文字「K」をモチーフにして、市民がはつらつと躍動する姿を、「オレンジ色の星」は旧5町村の調和と希望を表しています。「ブルー」は青い海と物部川の清流を、「グリーン」は山や里の豊かな自然をイメージし、美しい水と緑と風に包まれ、元気で豊かに光るまち「香南市」の実現を表現しています。

香南市の概要

市の木・花・鳥

（公募により

平成19年10月12日決定）

市の木／せんだん



センダン（梅檀）…ムロクジ目センダノ科。四国・九州・南西諸島に自生する落葉高木。成長が早いので学校や公園などに植栽されている。

《選定理由》

どんな環境でも根を下ろし、大きく枝を広げて大木になる生命力の強さに、香南市の未来をイメージ。また、夏には薄紫の花を咲かせ、その木陰で遊ぶ子どもたち、語らう大人たちの光景は、人が集い愛される香南市のシンボルツリーにぴったりと選ばれました。

市の花／みかん



ミカン（蜜柑）…温州みかんを指し、ミカン科の常緑低木。

主に関東以南の温暖な地域で栽培され、開花は5月上旬～中旬ごろ。

《選定理由》

香南市は県内に誇る「山北みかん」の産地。また、香我美町山北地区だけでなく、市内各地で作られている温州みかんの花は住民になじみが深く、その純白の小さな花は清楚で香り高く、香しき里「香南市」の花としてふさわしいと選ばれました。

市の鳥／めじろ



※メジロ…スズメ目メジロ科。ウグイス色で目の周りが白い体長約12センチの小鳥。平地から山地まで生息し、市街地の公園や庭にもよく姿を見せる。甘いものが好きで、熟した柿の実やウメ、サクラ、ツバキなどの花蜜を吸う姿がよく見られる。

《選定理由》

ウグイス色の体に目の周りが白い特徴的な姿が愛らしく、美しい鳴き声にはのどかな自然が感じられ、心が癒やされます。里山だけでなく、まちの庭先でも年中その姿を見ることができ、身近な鳥という親近感からも市の鳥として選ばれました。